

浅間神社の檜 瑞穂町指定天然記念物

所在地：瑞穂町箱根ヶ崎 2598 番地 浅間神社入口



狭山丘陵の山麓に鎮座する浅間神社の入口の左右に聳^{そび}える檜二本で、同社の象徴となっており、樹齢は 350 年を超えます。浅間神社は富士山と箱根ヶ崎の境界の尾根に鎮座し、宝暦 5 年（1708）に旧富士山村と旧箱根ヶ崎村の間でその帰属について争いが起こり、評定所裁定により、境内は旧箱根ヶ崎分となりました。今日、境内の入口は、狭山丘陵の

散策路「お伊勢山遊歩道」の起点のひとつとなっています。